

た。「簡単に」とのサレーの言とは異なって話し合いは延々と2時間余に及び、サレーのSPDCへの意気込みが感じられた。次回ワークショップは、フィンランドで開催される第20回IUFRO世界大会における開催であり、さらに翌年は、タイの王立森林局100周年、同時に、カセサート大学創立60周年を記念してのタイでの開催である。3年間続いたバイオリフォルの活動が世界的に好評をもって迎えられ、日を追うごとに問い合わせも多くなってきている。次回の、フィンランドでの基調講演は佐々木恵彦教授（東大）に引き受けて頂いた。益々の盛会を期待したい。

最後に、今回のワークショップの開催にあたっては外務省の支援とRETROFの全面的なご協力を頂いた。また、FRIM滞在中の丸山 温氏（森林総研）には準備段階から多大のご支援とご協力を頂いた。JICA 専門家の岩佐正行氏には無理なお願いを引き受けて頂いた。心からお礼申し上げ、本稿を閉じたい。

---

## 図書紹介

◎シッソーのモノグラフ (TEWARI, D.N.: A Monograph on *Dalbergia sissoo* Roxb. 初版, 1994, 316 pp., International Book Distributors, Dehra Dun India. 邦貨 8,500 円)

マメ科ツルサイカチ属 *Dalbergia* には熱帯・亜熱帯に分布する約300種（本書によると約100種）が属している。われわれに最も馴染みがあるのはシタン (*D. cochinchinensis*) であるが、本書の対象シッソーも有名である。後者は、天然にはミャンマーからアフガニスタンにかけてヒマラヤ山脈に沿って分布しており、一方シタンはミャンマーからインドシナ半島にかけて分布するとされている。シッソーは最近言うところの多目的樹種で、窒素分の多い飼料を生産し、また優れた緑肥ともなる。また耐久性の高いポール材や、家具やパネル生産にも使える美しい材をつくり、さらに高品質の燃材・炭を生産する。本書はシッソーについて、形態と分類、解剖的性質、造林と経営、更新、アグロフォレストリーにおける役割、遺伝と育種、生理、生態と保全、害虫・病気とそれらの防除、成長、材質、乾燥と保存、利用、経済と貿易に分けて詳述している。各章ごとにも引用文献が添えられているが、202～316 pp. にわたっては主要な文献を掲げ、殆んどに要約がつけられている。残念なのは、同じ著者の他のモノグラフ同様、索引がなく、その意味では不便である。（浅川澄彦）